

## 資料

### 子どものいる家庭の生活と意識に関する調査(市民アンケート)の結果

#### 1. 目的

本市における子育て世代の現状やニーズを把握し、今後の子どもの貧困対策及び子育て支援施策の充実のための基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

#### 2. 調査対象と回収率

区 分	対象者数	有効回収数	回収率
児童扶養手当受給資格者※1	718	509	70.9%
就学援助制度利用者	144	60	41.7%
合 計	862	569	66.0%

※1…就学援助利用者で、児童扶養手当の受給資格者のある者(対象者数 270 人、回答者数 235 人)については、児童扶養手当受給資格者に含めている。

#### 3. 調査期間

- ・児童扶養手当受給資格者…平成 29 年 8 月 8 日～平成 29 年 8 月 31 日
- ・就学援助制度のみ利用者…平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日

#### 4. 調査事項

家庭状況、子育て、教育、拡充を望む制度などについて

#### 5. 調査方法

- ・児童扶養手当受給資格者…事前に郵送の上、現況届出時に窓口回収
- ・就学援助制度のみ利用者…学校から該当者へ手渡しの上、郵送回収

#### 6. アンケート結果の集計方法

質問に応じて属性別(全世帯、母子家庭、父子家庭(祖父母等の世帯を含める)、就学援助制度利用者)に分けて集計している。

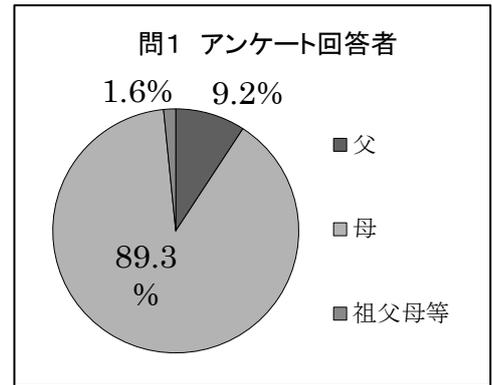
I あなたとあなたのご家族についてお聞きします。

問1 あなたとお子さんとの関係についてお答えください。

	父	母	その他(祖父母等)	回答数
人数	52	507	9	568
割合	9.2%	89.3%	1.6%	100%

【回答者】

- ・「母親」89.3%、「父親」9.2%、「その他(祖父母等)」1.6%の順となっている。

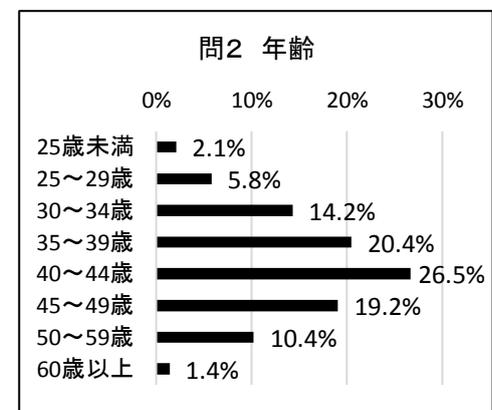


問2 あなたの現在の年齢はおいくつですか。

	25歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～59歳	60歳以上	回答数
人数	12	33	81	116	151	109	59	8	569
割合	2.1%	5.8%	14.2%	20.4%	26.5%	19.2%	10.4%	1.4%	100%

【年齢】

- ・40歳代が半数近くを占め、30歳代が3割、50歳代が1割、29歳以下が1割弱となっている。

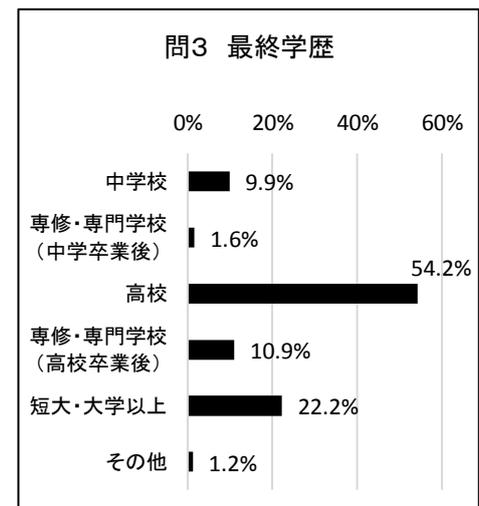


問3 あなたの最終学歴を教えてください。

	中学校	専修・専門学校(中学卒業後)	高校	専修・専門学校(高校卒業後)	短大・大学以上	その他	回答数
人数	56	9	308	62	126	7	568
割合	9.9%	1.6%	54.2%	10.9%	22.2%	1.2%	100%

【最終学歴】

- ・大学・短大以上が22.2%、専修・専門学校が12.5%、高校が54.2%、中学校が9.9%となっている。



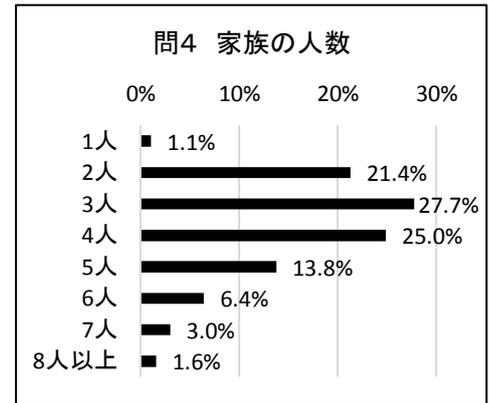
問4 あなたを含む、同居するご家族は何人ですか。

学校が遠方である等で普段同居していないお子さんも含めてお答えください。

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	回答数
人数	6	120	155	140	77	36	17	9	560
割合	1.1%	21.4%	27.7%	25.0%	13.8%	6.4%	3.0%	1.6%	100%

【同居家族の人数】

・家族の人数は2人から4人世帯が多い。

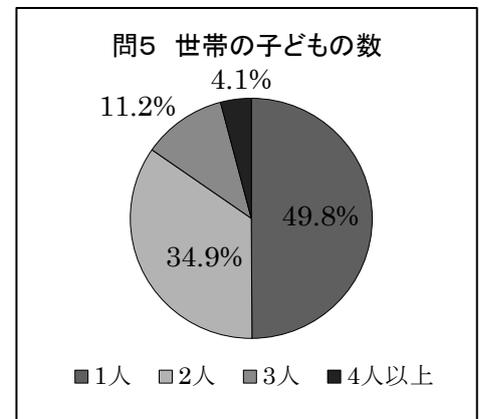


問5 お子さん（20歳未満）の状況について、年齢別学年別の人数を下の表にご記入ください。

	1人	2人	3人	4人以上	回答数・構成比
子の数別世帯数	280	196	63	23	562
構成比	49.8%	34.9%	11.2%	4.1%	100%
子の総数	280	392	189	99	960

【世帯の子の数】

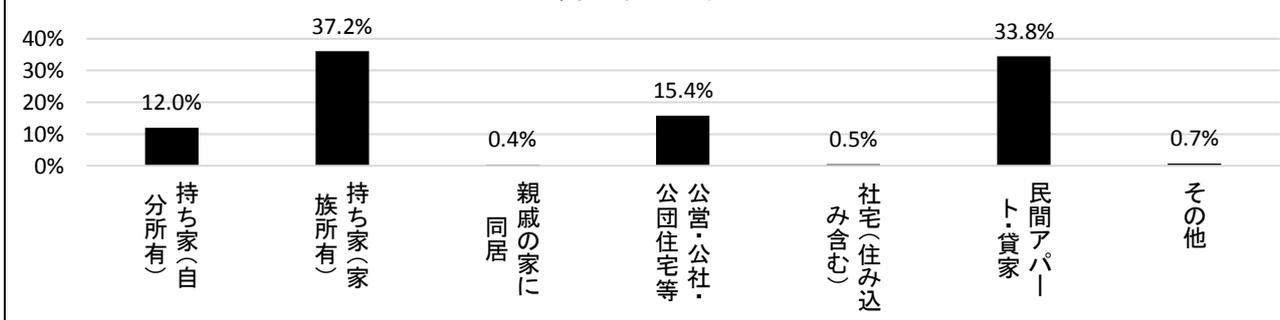
・「1人」が最も多く49.8%で、次いで「2人」が34.9%となっている。



問6 あなたの住宅に当てはまるものを、次のうちから選んでください。

	持ち家(自分所有)	持ち家(家族所有)	親戚の家に同居	公営・公社住宅等	社宅(住込含む)	アパート・貸家	その他	回答数
人数	68	210	2	87	3	191	4	565
割合	12.0%	37.2%	0.4%	15.4%	0.5%	33.8%	0.7%	100%

問6 住宅の状況



【住宅の状況】

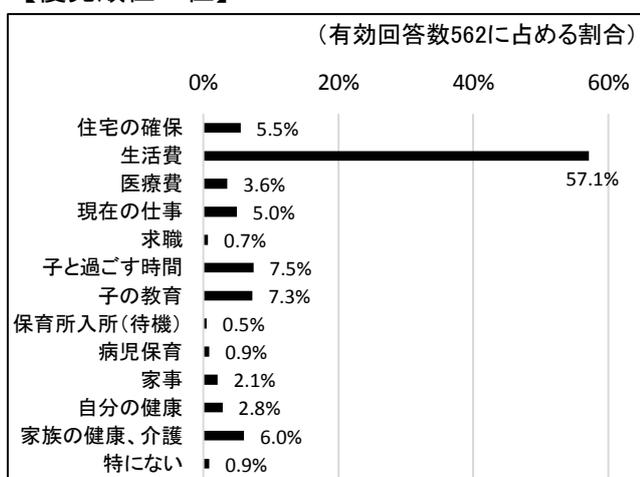
・約5割が持ち家ではなく、民間アパートや公営住宅、社宅等の賃貸住宅に居住している。

問7 現在、あなたが特に困っていることについて、困っている順に3つまでお答えください。

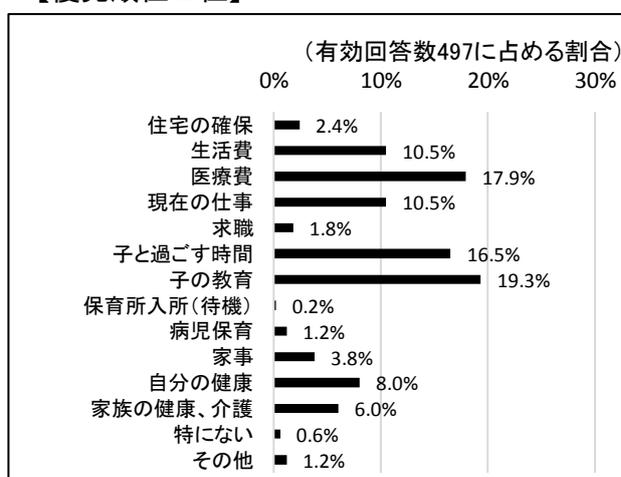
【優先順位1位から3位の合計】

	住宅の確保	生活費	医療費	現在の仕事	求職	子と過ごす時間	子の教育	
人数	52	396	133	109	23	160	224	
割合	3.5%	26.9%	9.0%	7.4%	1.6%	10.9%	15.2%	
	保育所入所(待機)	病児保育	家事	自分の健康	家族の健康、介護	特にない	その他	回答数
人数	4	18	58	127	131	14	18	1472
割合	0.3%	1.2%	3.9%	8.6%	8.9%	1.0%	1.2%	100%

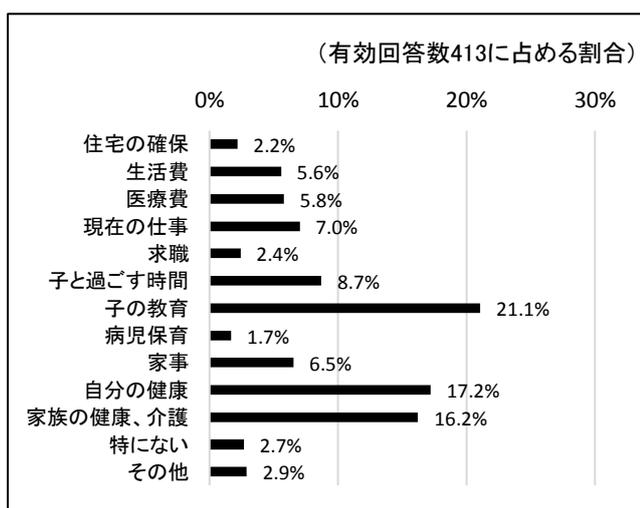
【優先順位1位】



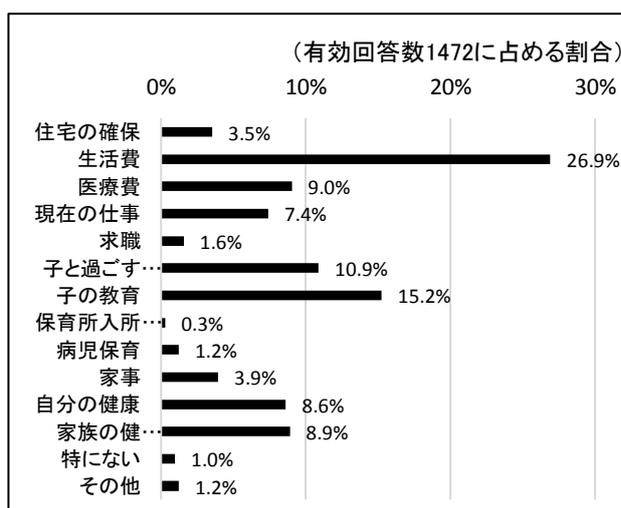
【優先順位2位】



【優先順位3位】



【優先順位1～3位の合計】



【困っていること】

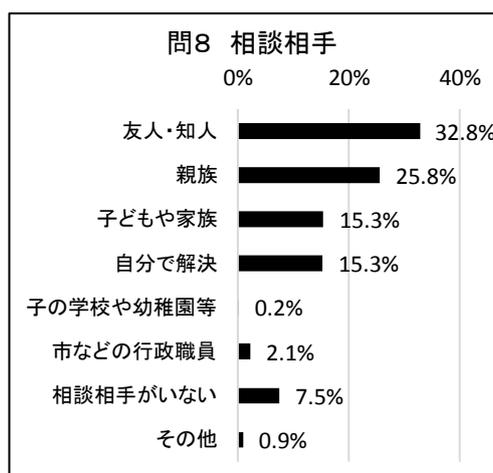
- ・優先順位1～3位の合計では、「生活費全般の確保」「子どもの教育」「子どもと過ごす時間の確保」「医療費」が高い割合を占めている。
- ・優先順位1位に限ると「生活費全般の確保」が57.1%で突出している。

問8 あなたが悩んでいることについて、最もよく相談する相手は誰ですか。

	友人知人	親族	子どもや家族	自分で解決
人数	184	145	86	86
割合	32.8%	25.8%	15.3%	15.3%
(母子家庭)	33.9%	26.0%	14.9%	15.5%
(父子家庭)	34.1%	36.4%	2.3%	9.1%

	子の学校や幼稚園等	市などの行政職員	相談相手がない	その他	回答数
人数	1	12	42	5	561
割合	0.2%	2.1%	7.5%	0.9%	100%
(母子家庭)	0.2%	1.5%	7.0%	0.9%	100%
(父子家庭)	0.0%	2.3%	15.9%	0.0%	100%



【相談相手】

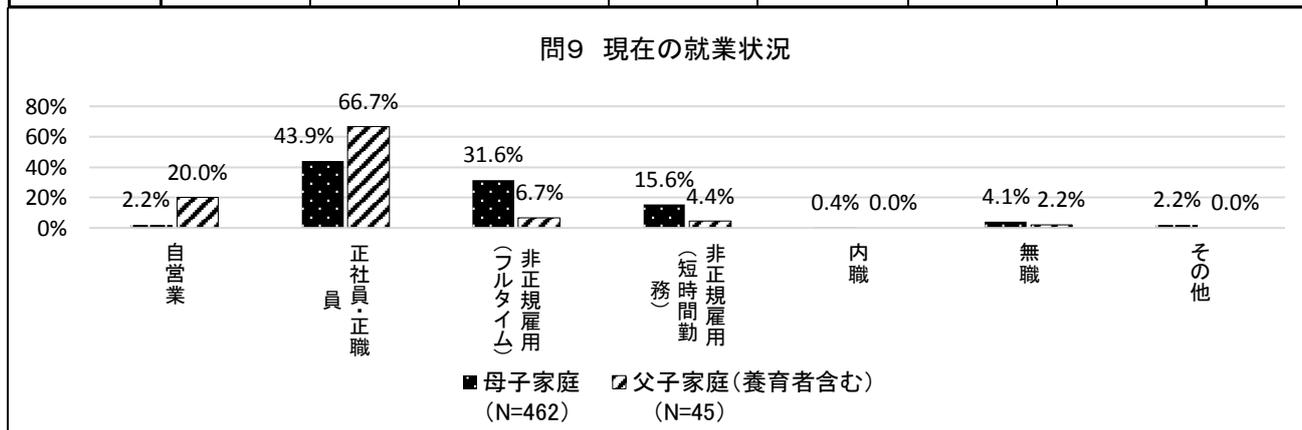
- ・「友人・知人」が最も多く、「親族」「子どもや家族」「自分で解決」が続いている。
- ・「相談相手がない」と答えた人は7.5%あり、特に父子家庭で多い。(母子家庭 N=457、父子家庭 N=44)

II あなたのお仕事と世帯の収入についてお聞きします。

問9 あなたのお仕事について、次のうちどれが最もあてはまりますか。

(2種類以上の仕事をしている場合は、最も収入の多いものをお答えください。)

	自営業	正社員・正職員	非正規雇用(フルタイム)	非正規雇用(短時間勤務)	内職	無職	その他	回答数
人数	26	242	160	97	2	26	14	567
割合	4.6%	42.7%	28.2%	17.1%	0.4%	4.6%	2.5%	100%
(母子家庭)	2.2%	43.9%	31.6%	15.6%	0.4%	4.1%	2.2%	100%
(父子家庭)	20.0%	66.7%	6.7%	4.4%	0.0%	2.2%	0.0%	100%



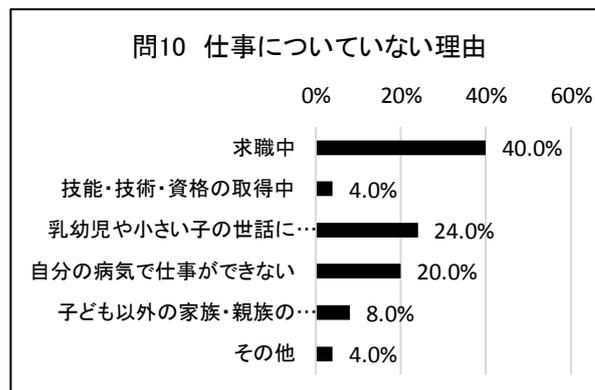
【現在の職業】

- ・父子家庭では、66.7%が「正社員・正職員」、20%が「自営業」、11.1%が「非正規雇用」となっている。
- ・母子家庭では、43.9%が「正社員・正職員」、47.2%が「非正規雇用」で非正規雇用の割合が高い。

問10 <問9で「6仕事についていない」とお答えの方にお聞きします。>

仕事についていない理由として、次のうちどれが最もあてはまりますか。

	求職中	技能・技術・資格の取得中	乳幼児や小さい子の世話に専念	自分の病気で仕事ができない	子ども以外の家族・親族の介護	その他	回答数
人数	10	1	6	5	2	1	25
割合	40.0%	4.0%	24.0%	20.0%	8.0%	4.0%	100%



### 【仕事についていない理由】

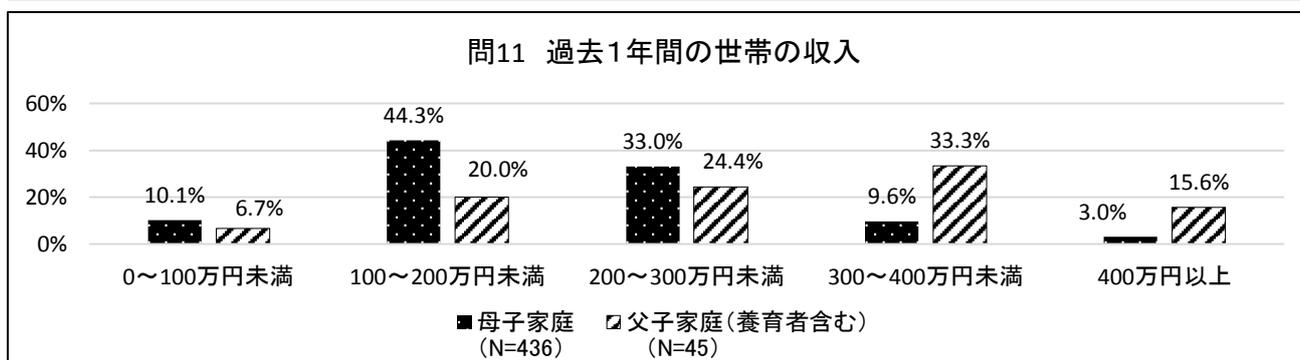
- ・仕事についていないが、「求職中」と答えた世帯が40.0%となっている。
- ・また、子どもの世話、自分の病気、家族の介護が理由で仕事ができないと答えた世帯が52.0%となっている。

問11 あなたの世帯の収入についてお聞きします。

平成28年1月1日から12月31日までの1年間の総収入額はいくらですか。

(※社会保険料・住民税など、引かれる前の金額でお答えください。ボーナス等の臨時収入、年金、養育費、児童扶養手当等も含めます。)

	0～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400万円以上	回答数
人数	56	223	176	64	22	541
割合	10.4%	41.2%	32.5%	11.8%	4.1%	100%
(母子家庭)	10.1%	44.3%	33.0%	9.6%	3.0%	100%
(父子家庭)	6.7%	20.0%	24.4%	33.3%	15.6%	100%



### 【世帯の年間収入】

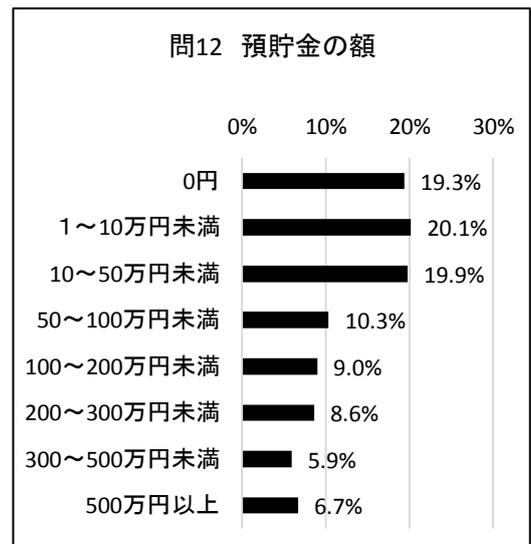
- ・父子家庭では「300～400万円未満」、母子家庭では「100～200万円未満」が最も多くなっている。
- ・また、「0～100万円未満」と答えた世帯も、全体で10.4%となっている。

問12 あなたの世帯の預貯金（株、保険、現金等を含む）の額を教えてください。

	0円	1～10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	
人数	101	105	104	54	
割合	19.3%	20.1%	19.9%	10.3%	
(母子家庭)	18.6%	21.5%	21.0%	9.7%	
(父子家庭)	19.5%	4.9%	17.1%	22.0%	
	100～200万円未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500万円以上	回答数
人数	47	45	31	35	522
割合	9.0%	8.6%	5.9%	6.7%	100%
(母子家庭)	8.5%	8.5%	6.4%	5.9%	100%
(父子家庭)	14.6%	9.8%	4.9%	7.3%	100%

【預貯金の額】

・100万円未満が約7割で、そのうち預貯金のない世帯が約2割となっている。

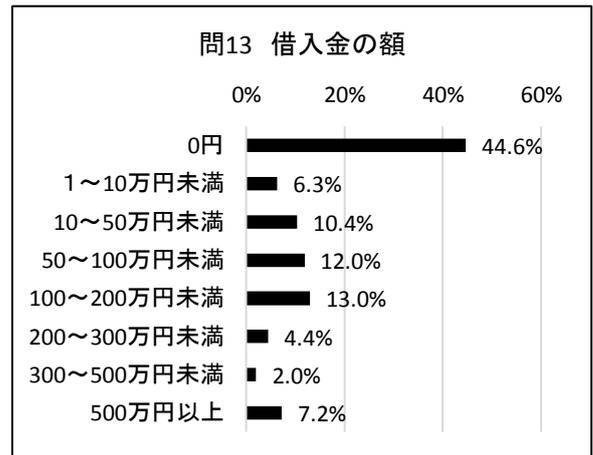


問13 あなた世帯の借入金（車のローン、奨学金、親族友人からの借入等）の額を教えてください。

	0円	1～10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	
人数	241	34	56	65	
割合	44.6%	6.3%	10.4%	12.0%	
	100～200万円未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500万円以上	回答数
人数	70	24	11	39	540
割合	13.0%	4.4%	2.0%	7.2%	100%

【借入金の額】

・借入金がある世帯は5割以上で、その内100万円以上借入れている世帯は26.6%となっている。



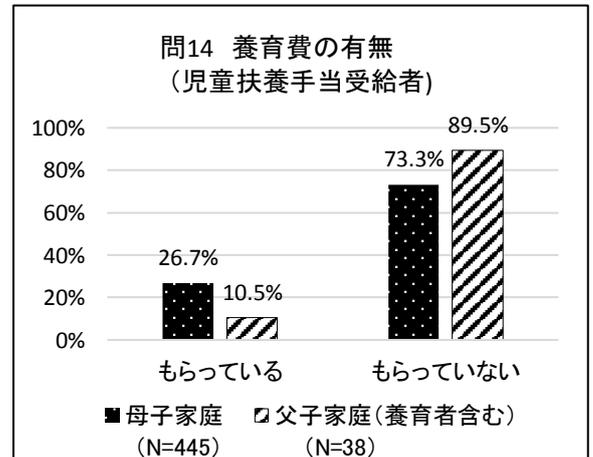
問14 <離婚をしたひとり親家庭の方へお聞きします。>

あなたはお子さんの養育費を受け取っていますか。

	もらっている	もらっていない	回答数
人数	130	365	495
割合	26.3%	73.7%	100%
(母子家庭)	26.7%	73.3%	100%
(父子家庭)	10.5%	89.5%	100%

【養育費】

・「もらっている」と答えた世帯が、父子家庭では10.5%、母子家庭では26.7%となっている。



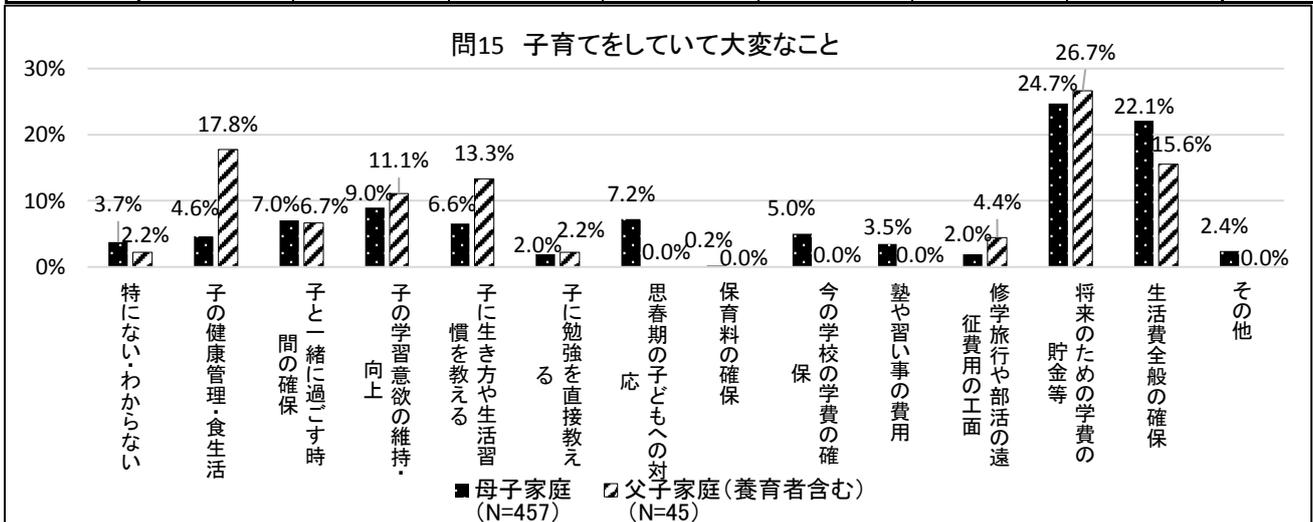
Ⅲ あなたの子育てや教育などについてお聞きします。

問15 あなたが子育てしていて最も大変と感じていることは何ですか。

	特にない・わからない	子の健康管理・食生活	子と一緒に過ごす時間の確保	子の学習意欲の維持・向上	子に生き方や生活習慣を教える	子に勉強を直接教える	思春期の子どもへの対応
人数	18	31	37	47	39	13	38
割合	3.2%	5.5%	6.6%	8.4%	7.0%	2.3%	6.8%
(母子家庭)	3.7%	4.6%	7.0%	9.0%	6.6%	2.0%	7.2%
(父子家庭)	2.2%	17.8%	6.7%	11.1%	13.3%	2.2%	0.0%

	保育料の確保	今の学校の学費の確保	塾や習い事費用	修学旅行や部活の遠征費用の工面	将来のための学費の貯金等	生活費全般の確保	その他	回答数
人数	1	25	19	15	141	124	13	561
割合	0.2%	4.5%	3.4%	2.7%	25.1%	22.1%	2.3%	100%
(母子家庭)	0.2%	5.0%	3.5%	2.0%	24.7%	22.1%	2.4%	100%
(父子家庭)	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	26.7%	15.6%	0.0%	100%



【子育てで大変なこと】

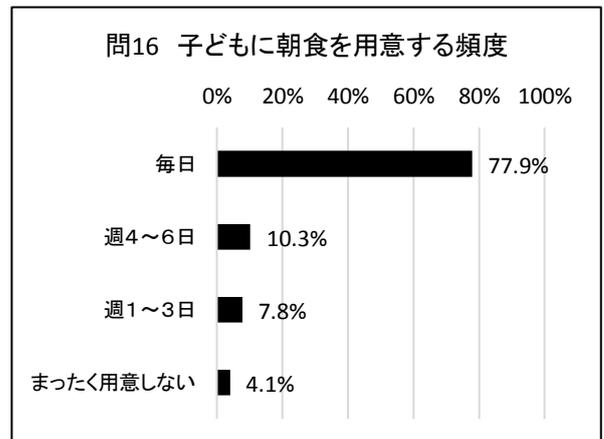
- ・「将来のための学費の貯金等」が最も多く、次いで「生活費全般の確保」となっている。
- ・父子家庭においては、「子の健康管理・食生活」、「子に生き方や生活習慣を教える」も高い割合を占めている。

問16 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに朝ご飯を用意しますか。

	毎日	週4~6日	週1~3日	まったく用意しない	回答数
人数	440	58	44	23	565
割合	77.9%	10.3%	7.8%	4.1%	100%

【子どもの朝食頻度】

- ・「毎日」が8割近くあったが、毎日用意していない世帯も2割以上あった。



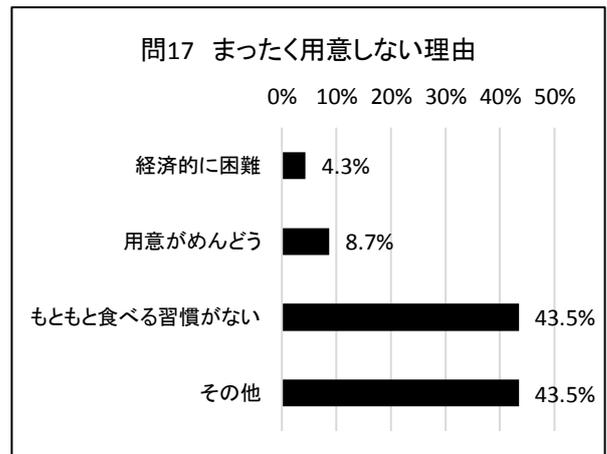
問17 問16で「4まったく用意しない」と答えた方にお聞きします。

用意しない理由として最もあてはまるものをお答えください。

	経済的に困難	用意がめんどろ	もともと食べる習慣がない	その他	回答数
人数	1	2	10	10	23
割合	4.3%	8.7%	43.5%	43.5%	100%

【朝食を用意しない理由】

- ・「もともと食べる習慣がない」が約4割で最も多く、「用意がめんどろ」「経済的に困難」が続いている。

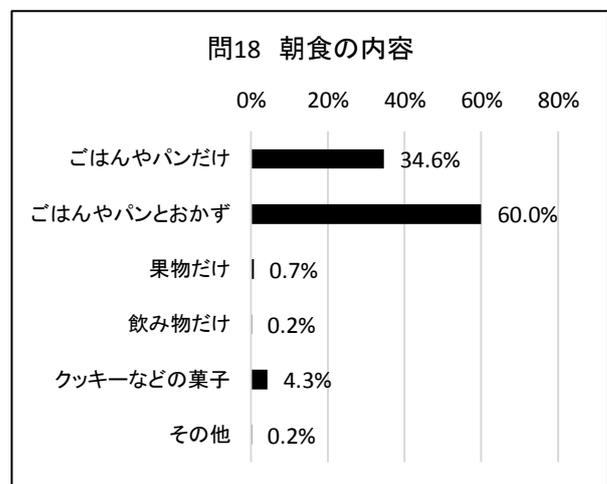


問18 お子さんの朝ご飯は、どのようなものを用意しますか。

	ごはんやパンだけ	ごはんやパンとおかず	果物だけ	飲み物だけ	クッキーなどの菓子	その他	回答数
人数	191	331	4	1	24	1	552
割合	34.6%	60.0%	0.7%	0.2%	4.3%	0.2%	100%

【朝食内容】

- ・「ごはんやパンとおかず」が6割で最も多く、次に「ごはんやパンだけ」が34.6%となっている。
- ・また、「クッキーなどの菓子」と答えた世帯が4.3%となっている。

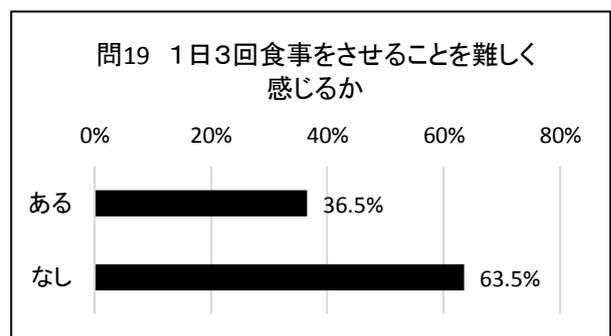


問19 お子さんに1日3回、十分な食事を食べさせることを難しく感じることはありますか。

	ある	なし	回答数
人数	205	356	561
割合	36.5%	63.5%	100%

【1日3食の困難さ】

- ・36.5%の世帯が1日3回食べさせることを「難しく感じる」と答えている。



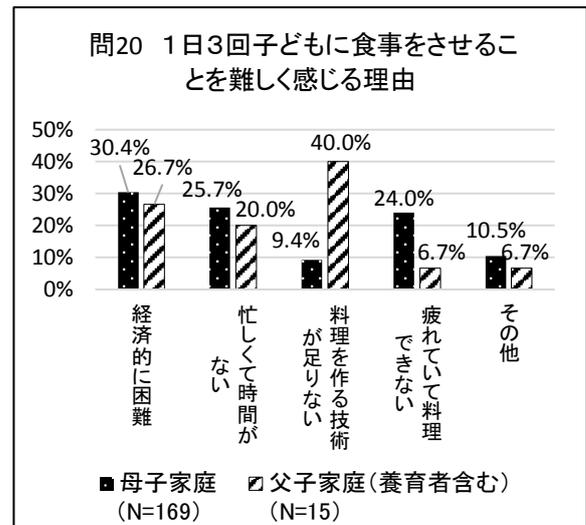
問20 問19「1ある」と答えた方にお聞きします。

理由として最もあてはまるものをお答えください。

	経済的に困難	忙しくて時間がない	料理を作る技術が足りない	疲れていて料理できない	その他	回答数
人数	64	52	24	45	19	204
割合	31.4%	25.5%	11.8%	22.1%	9.3%	100%
(母子家庭)	30.8%	25.4%	8.9%	24.3%	10.7%	100%
(父子家庭)	26.7%	20.0%	40.0%	6.7%	6.7%	100%

【難しく感じる理由】

- ・父子家庭では、「料理を作る技術が足りない」が最も多く、次いで「経済的に困難」が多い。
- ・母子家庭では、「経済的に困難」が最も多く、次いで「忙しくて時間がない」が多い。

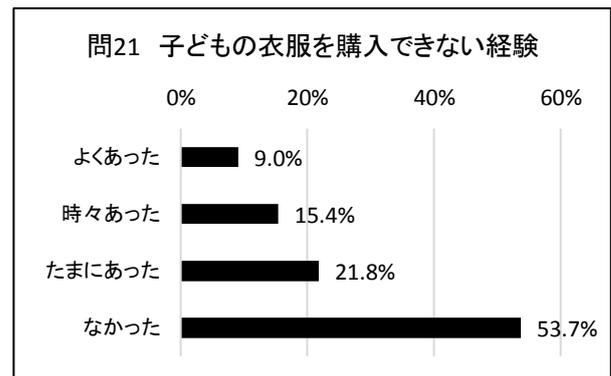


問21 過去1年間で、経済的な理由によって、お子さんの成長に合った衣服を購入できないことはありましたか。

	よくあった	時々あった	たまにあった	なかった	回答数
人数	51	87	123	303	564
割合	9.0%	15.4%	21.8%	53.7%	100%

【子どもの衣服】

- ・半数程度の世帯で、子どもの衣類を購入できないことがあったと答えている。

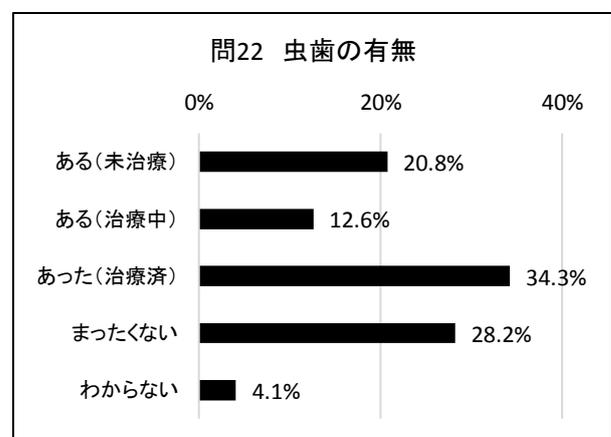


問22 お子さんにはむし歯がありますか。

	ある(未治療)	ある(治療中)	あった(治療済)	まったくない	わからない	回答数
人数	117	71	193	159	23	563
割合	20.8%	12.6%	34.3%	28.2%	4.1%	100%

【子どもの虫歯】

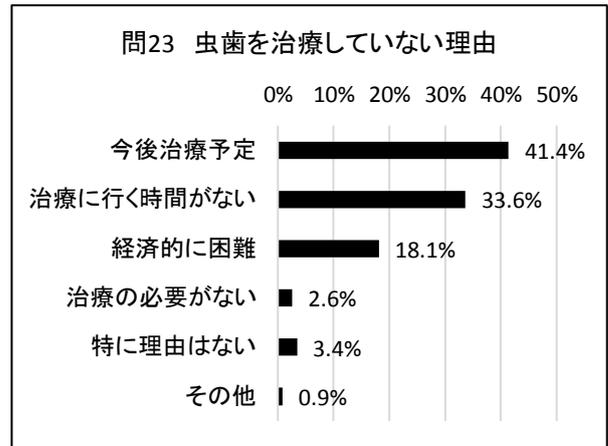
- ・「虫歯がある」と答えた世帯が33.4%で、そのうち、「虫歯があるが未治療」と答えた世帯が約6割となっている。



問 23 問 22 で「1 ある（治療をしていない）」と答えた方にお聞きします。

治療をしていない理由として最も近いものをお答えください。

	今後治療予定	治療に行く時間がない	経済的に困難	治療の必要がない	特に理由はない	その他	回答数
人数	48	39	21	3	4	1	116
割合	41.4%	33.6%	18.1%	2.6%	3.4%	0.9%	100%



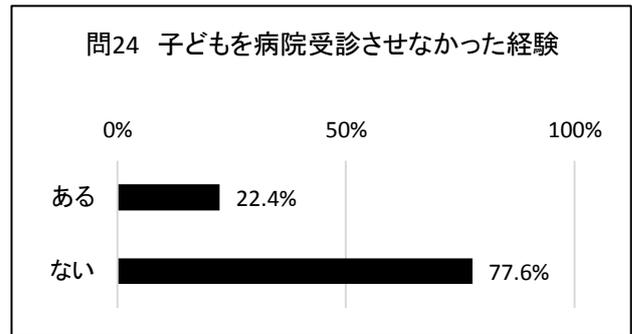
【治療をしていない理由】

- ・「今後治療予定」が約4割あったが、「治療に行く時間がない」「経済的に困難」と答えた世帯も多い。

問 24 過去1年間で、お子さんを病院に受診させた方が良かったと思っただが、実際には

受診させなかったことがありますか。

	ある	ない	回答数
人数	126	437	563
割合	22.4%	77.6%	100%



【子どもの病院受診】

- ・22.4%の世帯が病院を受診させた方が良かったと思っただが受診させなかったことがあると答えている。

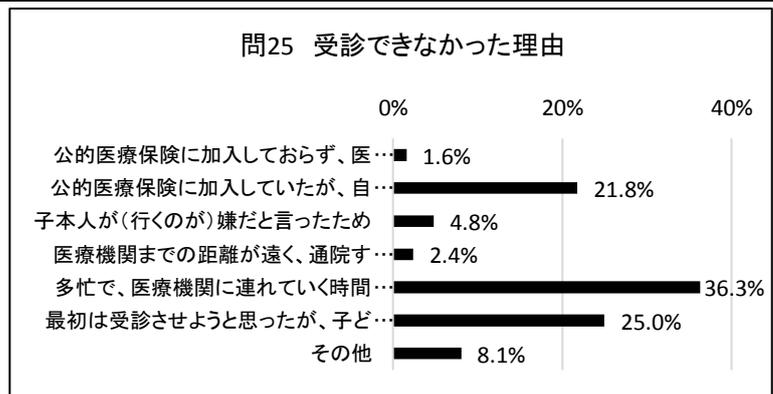
問 25 問 24 で、「1 ある」と答えた方にお聞きします。

受診させなかったのはなぜですか。最も近いものをお答えください。

	公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができないため	公的医療保険に加入していたが、自己負担金を支払うことができないため	子本人が(行くのが)嫌だと言ったため	医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため	多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため	受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため	その他	回答数
人数	2	27	6	3	45	31	10	124
割合	1.6%	21.8%	4.8%	2.4%	36.3%	25.0%	8.1%	100%

【受診できなかった理由】

- ・「多忙で連れていく時間がなかった」と答えた世帯が36.3%と最も多く、「受診させなくてもよいと判断した」「公的医療保険に加入しているが自己負担額を支払うことができない」が続いている。

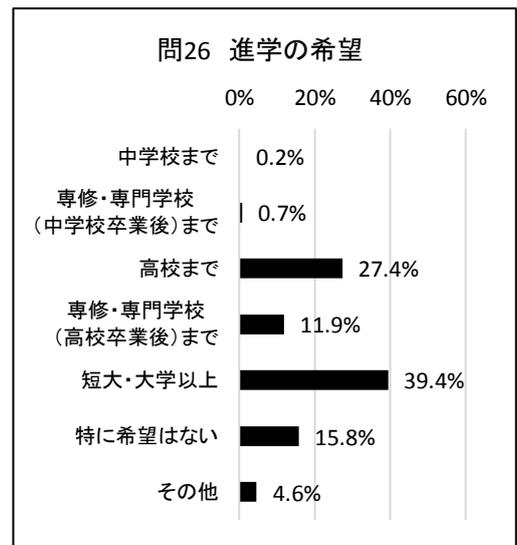


問 26 あなたは、お子さんにどの学校へ進んでほしいと思いますか。

	中学校まで	専修・専門学校 (中学校卒業後)まで	高校まで	専修・専門学校 (高校卒業後)まで	短大・大学以上	特に希望はない	その他	回答数
人数	1	4	154	67	222	89	26	563
割合	0.2%	0.7%	27.4%	11.9%	39.4%	15.8%	4.6%	100%

【子どもに対する進学希望】

- ・「短大・大学以上」が 39.4%、「高校まで」が 27.4%となっている。
- ・また、「特に希望がない」と答えた世帯も 15.8%となっている。

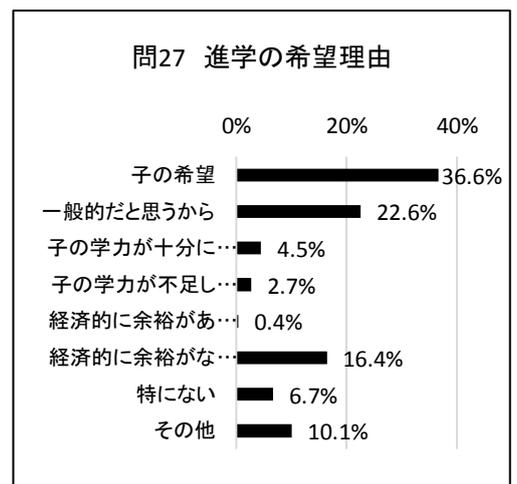


問 27 問 26 で、そのようにお考えになる理由は何ですか。

	子の希望	一般的だと思うから	子の学力が十分にあるから	子の学力が不足しているから	経済的に余裕があるから	経済的に余裕がないから	特にない	その他	回答数
人数	203	125	25	15	2	91	37	56	554
割合	36.6%	22.6%	4.5%	2.7%	0.4%	16.4%	6.7%	10.1%	100%

【子どもに対しての進学希望理由】

- ・「子の希望」が 36.6%と最も多く、「一般的だと思うから」「経済的に余裕がないから」が続いている。

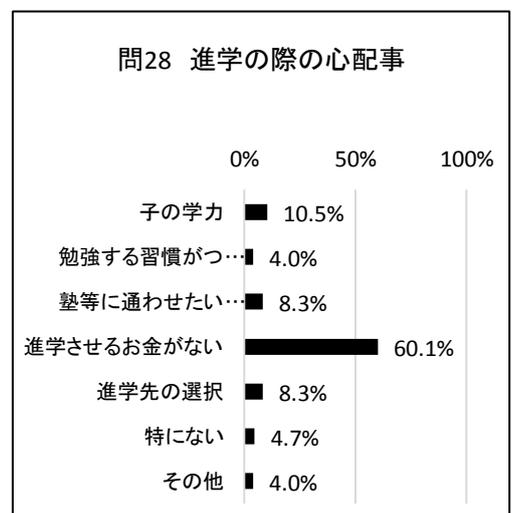


問 28 お子さんを将来希望する学校まで進学させる際、最も心配なことは何ですか。

	子の学力	勉強する習慣がついていない	塾等に通わせたいがお金がない	進学させるお金がない	進学先の選択	特にない	その他	回答数
人数	58	22	46	332	46	26	22	552
割合	10.5%	4.0%	8.3%	60.1%	8.3%	4.7%	4.0%	100%

【進学させる際の心配事】

- ・「進学させるお金がない」と答えた世帯が約6割と高い割合を占めている。

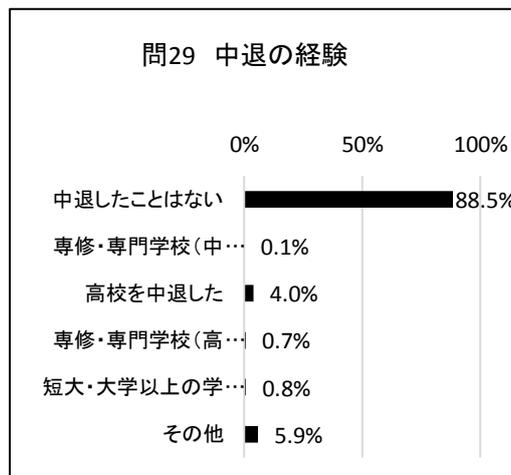


問 29 お子さんが学校を中退したことがありますか。お子さんが複数いる場合は、お子さんごとに該当する欄にお答えください。

	中退したことはない	専修・専門学校(中学卒業後)を中退した	高校を中退した	専修・専門学校(高校卒業後)を中退した	短大・大学以上の学校を中退した	その他	回答数
人数	671	1	30	5	6	45	758
割合	88.5%	0.1%	4.0%	0.7%	0.8%	5.9%	100%

【子どもの中退経験】

- ・88.5%の世帯で、子どもが「中退したことはない」と答えている。
- ・また、4%の世帯で、子どもが「高校を中退した」と答えた。

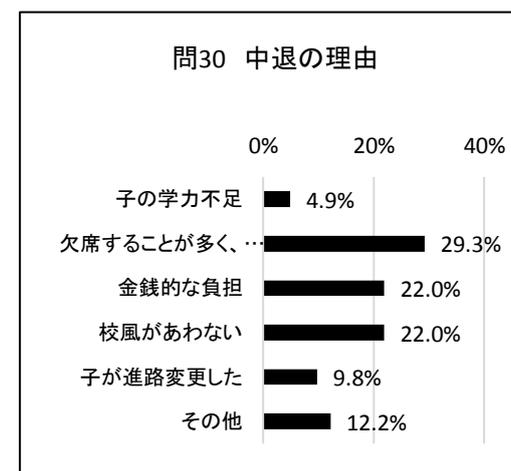


問 30 問 29 で「2」～「5」と答えた方にお聞きします。お子さんが学校を中退した理由として、最もあてはまるものをお答えください。

	子の学力不足	欠席することが多く、進級できない	金銭的な負担	校風があわない	子が進路変更した	その他	回答数
人数	2	12	9	9	4	5	41
割合	4.9%	29.3%	22.0%	22.0%	9.8%	12.2%	100%

【中退理由】

- ・「欠席することが多く、進級できない」が29.3%で最も多く、次いで、「金銭的な負担」「校風があわない」が続いている。

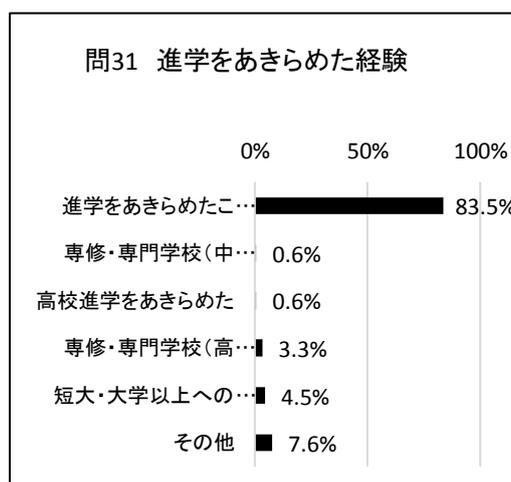


問 31 あなたの世帯では、お子さんが進学をあきらめたことがありますか。お子さんが複数いる場合は、お子さんごとに該当する欄にお答えください。

	進学をあきらめたことはない	専修・専門学校(中学卒業後)進学をあきらめた	高校進学をあきらめた	専修・専門学校(高校卒業後)進学をあきらめた	短大・大学以上の進学をあきらめた	その他	回答数
人数	562	4	4	22	30	51	673
割合	83.5%	0.6%	0.6%	3.3%	4.5%	7.6%	100%

【進学をあきらめた経験】

- ・9%の世帯で、子どもが「進学をあきらめたことがある」と答えている。

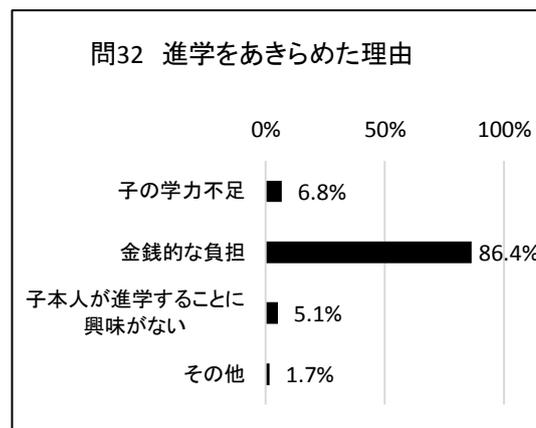


問32 問31で「2」～「5」と答えた方にお聞きします。お子さんが進学をあきらめた理由として、最もあてはまるものをお答えください。

	子の学力不足	金銭的な負担	子本人が進学する事に興味がない	その他	回答数
人数	4	51	3	1	59
割合	6.8%	86.4%	5.1%	1.7%	100%

【進学をあきらめた理由】

- ・「金銭的な理由」と答えた世帯が9割弱と圧倒的に多い。

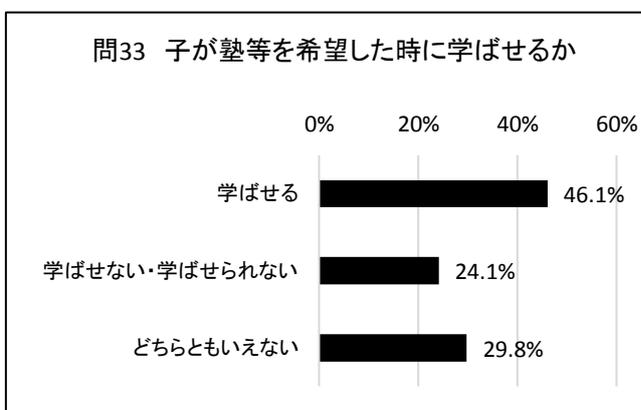


問33 お子さんが塾や通信教育などで学びたいと言ってきたら、学ばせてあげますか。

	学ばせる	学ばせない・学ばせられない	どちらともいえない	回答数
人数	252	132	163	547
割合	46.1%	24.1%	29.8%	100%

【塾】

- ・「学ばせる」と答えた世帯が46.1%と最も多く、「学ばせない、学ばせられない」と答えた世帯も24.1%となっている。



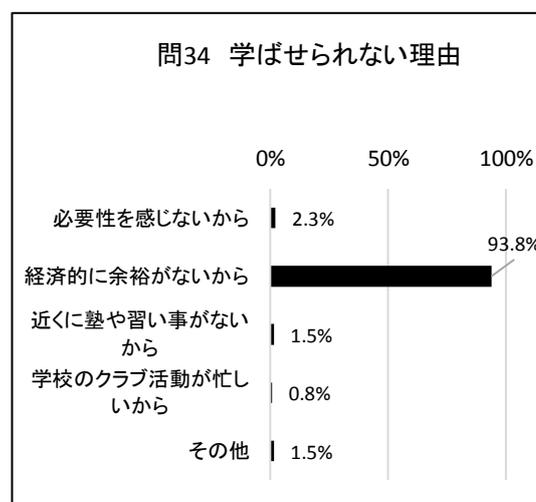
問34 問33で「2学ばせない・学ばせられない」と答えた方にお聞きします。

学ばせられないと思う理由はなんですか。

	必要性を感じないから	経済的に余裕がないから	近くに塾や習い事がないから	学校のクラブ活動が忙しいから	その他	回答数
人数	3	122	2	1	2	130
割合	2.3%	93.8%	1.5%	0.8%	1.5%	100%

【学ばせられない理由】

- ・「経済的に余裕がないから」と答えた世帯が最も多く、9割以上となっている。



IV 公的な制度についてお聞きします。

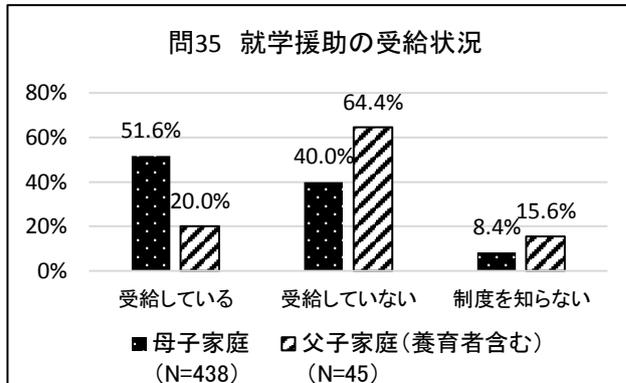
問 35 あなたは現在、就学援助を受給していますか。

(※就学援助とは、経済的な理由を要件として、小中学校への就学が困難な場合に、学用品費や給食費、修学旅行費等の一部を援助する制度のことです。)

	受給している	受給していない	制度を知らない	回答数
人数	295	204	44	543
割合	54.3%	37.6%	8.1%	100%
(母子家庭)	51.6%	40.0%	8.4%	100%
(父子家庭)	20.0%	64.4%	15.6%	100%

【就学援助の受給状況】

- ・「受給している」と答えた世帯は、父子家庭では2割、母子家庭では5割となっている。



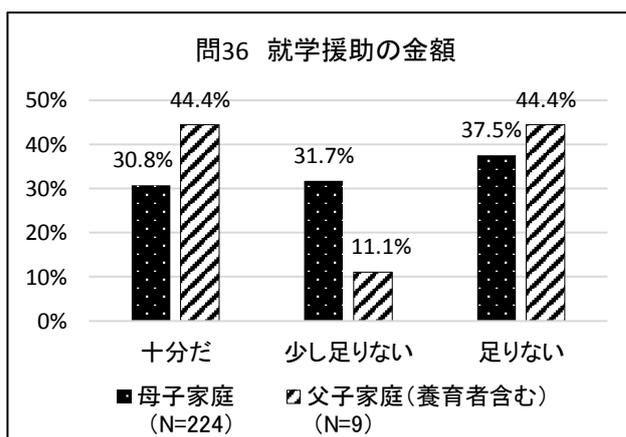
問 36 問 35 で「1 受給している」と答えた方へ援助費の金額についてお聞きします。

今の援助費の金額についてどう感じますか。

	十分だ	少し足りない	足りない	回答数
人数	96	85	110	291
割合	33.0%	29.2	37.8	100%
(母子家庭)	30.8%	31.7%	37.5%	100%
(父子家庭)	44.4%	11.1%	44.4%	100%

【就学援助の金額】

- ・「足りない」「少し足りない」と答えた世帯が、父子家庭では5割程度、母子家庭では7割程度となっている。



問 37 問 36 で「2 少し足りない」「3 足りない」と答えた方へお聞きします。

学校にかかる経費で足りないと思う内容や金額について具体的にお答えください。

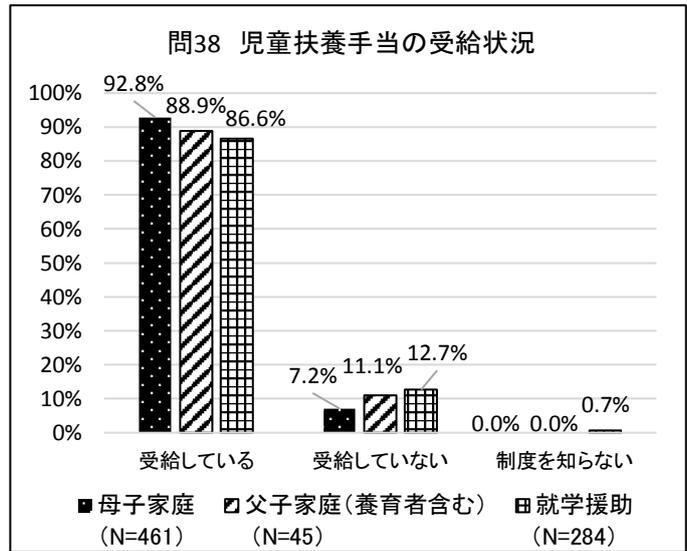
【主な内容と件数】

・制服・靴等： 35 件	・部活： 27 件	・集金： 26 件
・学用品・教材：18 件	・行事： 14 件	・進学： 9 件
・交通費： 7 件	・支払方法：7 件	・PTA会費： 6 件
・高校： 4 件	・学童： 2 件	・昼食： 2 件
・自転車： 2 件	・その他 25 件	

問 38 あなたは現在、児童扶養手当を受給していますか。

(※児童扶養手当とは、ひとり親等に対する生活の安定のための手当のことです。)

	受給している	受給していない	制度を知らない	回答数
人数	486	68	2	556
割合	87.4%	12.2%	0.4%	100%
(母子家庭)	92.8%	7.2%	0.0%	100%
(父子家庭)	88.9%	11.1%	0.0%	100%
(就学援助)	86.6%	12.7%	0.7%	100%



【児童扶養手当の受給状況】

- ・ 就学援助受給世帯の中で児童扶養手当を受給している世帯は、86.6%となっている。

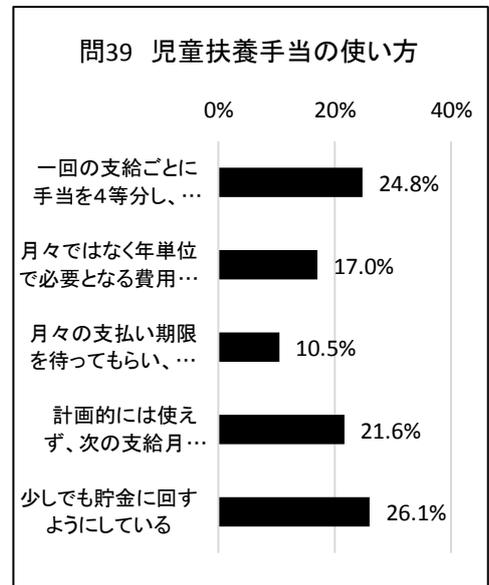
注意 1 : 児童扶養手当受給資格者世帯でも、所得の状況により、受給していない家庭がある。

注意 2 : 就学援助については、児童扶養手当受給資格者のうち就学援助制度を利用している 235 人も加えている。

問 39 問 37 で「1 受給している」と答えた方へお聞きします。

児童扶養手当の使い方についておうかがいします。毎年 4 月・8 月・12 月に、前月までの 4 か月がまとめて支払われますが、どのように使っていますか。

	一回の支給ごとに手当を4等分し、月々の家計に繰り入れて使っている	月々ではなく年単位で必要となる費用を考えて、計画的に使っている	月々の支払い期限を待ってもらい、手当の支給月にまとめて支払っている	計画的には使えず、次の支給月には手当がなくなっている	少しでも貯金に回すようにしている	回答数
人数	118	81	50	103	124	476
割合	24.8%	17.0%	10.5%	21.6%	26.1%	100%



【児童扶養手当の使い方】

- ・ 「少しでも貯金に回すようにしている」が 26.1%で最も多く、次いで「1 回の手当を 4 等分して家計に繰り入れ使っている」が 24.8%で続いている。
- ・ 一方、21.6%の世帯が「計画的に使えず次の支給月には手当がなくなっている」と答え、家計のやりくり困っている。

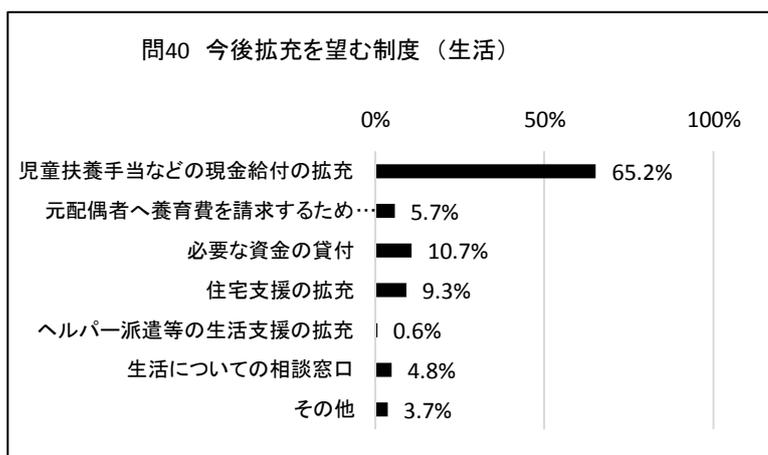
問40 あなたが子育てしていく上で、これから支援を拡充すべき（必要）と思う制度を教えてください。それぞれの支援から最も必要だと思うものを1つずつお答えください。

＜生活への支援＞

	児童扶養手当などの現金給付の拡充	元配偶者へ養育費を請求するためのサポート	必要な資金の貸付	住宅支援の拡充	ヘルパー派遣等の生活支援の拡充	生活についての相談窓口	その他	回答数
人数	352	31	58	50	3	26	20	540
割合	65.2%	5.7%	10.7%	9.3%	0.6%	4.8%	3.7%	100%

【拡充を望む制度(生活)】

・「児童扶養手当などの現金給付の拡充」を望む世帯が65.2%と最も多く、経済的支援へのニーズが高い。

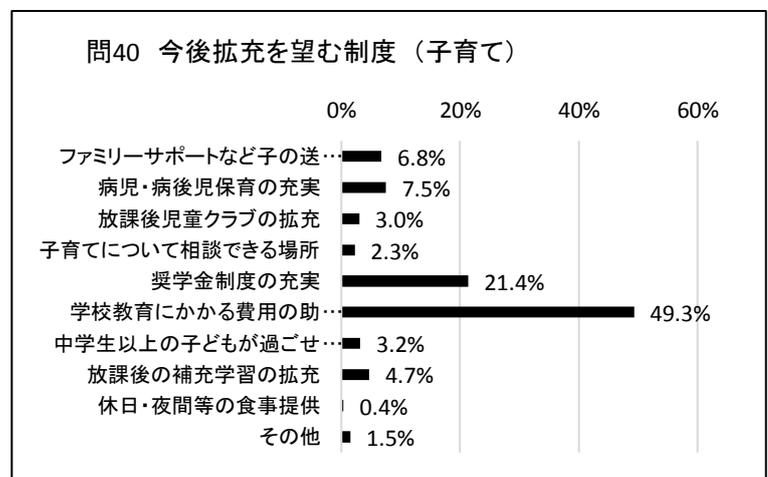


＜子育てへの支援＞

	ファミリーサポートなど子の送迎・一時預かりの支援	病児・病後児保育の充実	放課後児童クラブの拡充	子育てについて相談できる場所	奨学金制度の充実	学校教育にかかる費用の助成・免除の拡充	中学生以上の子どもが過ごせる場の拡充	放課後の補充学習の拡充	休日・夜間等の食事提供	その他	回答数
人数	36	40	16	12	114	263	17	25	2	8	533
割合	6.8%	7.5%	3.0%	2.3%	21.4%	49.3%	3.2%	4.7%	0.4%	1.5%	100%

【拡充を望む制度(子育て)】

・「学校教育にかかる費用の助成・免除の拡充」が49.3%と最も多く、次いで「奨学金の充実」が21.4%で、就学に関するニーズが高い。



### <仕事への支援>

	就業支援のための訓練や講習会などの機会確保	就業のための訓練受講のための経済的支援	就業相談や求人情報提供の充実	就業の相談窓口	親が働きやすい職場環境の改善	その他	回答数
人数	35	90	61	11	274	22	493
割合	7.1%	18.3%	12.4%	2.2%	55.6%	4.5%	100%

#### 【拡充を望む制度(仕事)】

・「親が働きやすい職場環境の改善」と答えた世帯が55.6%で最も多く、次いで「就業訓練受講のための経済的支援」「就業相談や求人情報提供の充実」であった。職場環境の改善、資格取得、情報提供と多岐にわたる就労支援へのニーズが高い。

